

第80期

報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日



夏の上高地

株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第80期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。当期におけるわが国経済は、全国的には引き続き「アベノミクス」効果による回復基調となり、また2020年にオリンピック東京開催が決定する等明るさの見える話題も重なり、日経平均株価も上昇基調となって推移いたしました。当社グループの主な営業エリアである長野県では、製造業の海外移転等の影響もあり、直ちに景気回復を実感できるような状況には至っておりません。

当社グループの主要事業でありますエネルギー分野におきましては、太陽光など再生可能エネルギー発電設備の設置が促進されておりますが、ベースロード電源構想としての原子力発電再稼働問題等、国のエネルギー政策についてはなお注視していく必要があります。

このような状況のもとで、当社グループは従来より提案してまいりました「エネルギーのベストミックス」により、LPガス・石油類・太陽光発電等お客様の実情に即したトータルな提案営業を積極的に行い、エネルギー利用の高効率化を推進する一方、徹底したコスト削減と適正利益の確保に努めてまいりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、当社が本年創立80周年を迎えることを記念し、株主の皆さまの日頃のご支援に対する感謝の意を表したく、前期と同額の1株当たり18円の普通配当に記念配当1円を加え、合わせて19円とさせていただきます。

これからもサンリングループは、クリーンで安全便利なエネルギーを安価で安定的に供給し、エネルギー販売等を通じてお客様のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、環境負荷の低いエネルギーの普及推進とエネルギー利用の高効率化を促進することにより、地域に選択される地域密着型生活関連総合商社として総合力を強化してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

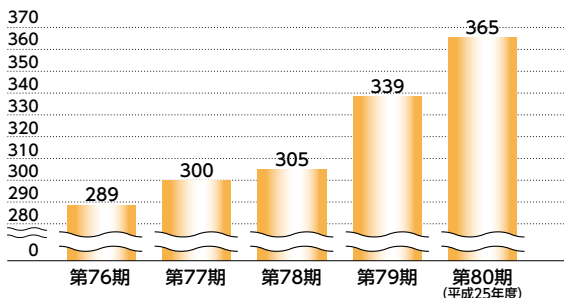
柳澤勝久

平成26年6月

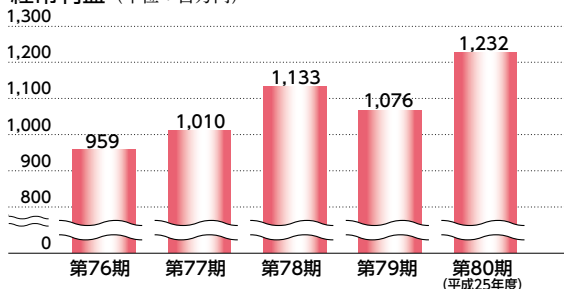
営業の概況(連結)

■財務ハイライト

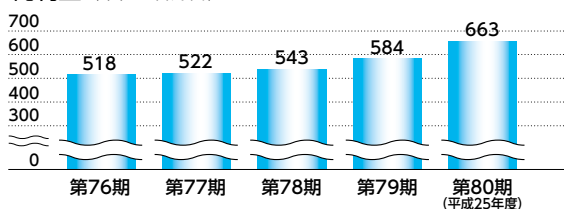
売上高 (単位: 億円)



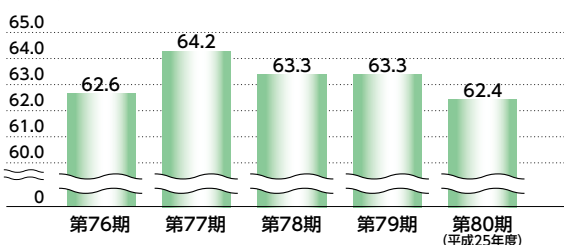
経常利益 (単位: 百万円)



純利益 (単位: 百万円)



自己資本比率 (単位: %)



石油事業におきましては、業界再編がさらに加速し、業者間およびエネルギー間の競争も一段と激しさを増しております。また、国際情勢を背景に原油価格の変動等、利益確保がますます厳しい状況となっております。このようななかにおいて当社グループは、価格競争力と顧客サービスの向上を図りながら、販売数量の確保に努めてまいりました。

LPガス事業では、市況も原油価格に準じた動きとなった中で、適正利益の確保に努めてまいりました。また、販売店と一体となったキャンペーンを年間通じて実施し、より環境にやさしいLPガスの利便性、経済性をお客様に理解していただく運動を展開し、時代に即した高効率給湯器や省エネ機器の販売・設置に努め、その拡大普及を図るとともに、流通合理化によるコスト削減のために、バルク供給化を引き続き推進してまいりました。

リフォーム事業では、お客様の立場に立ったトータルな営業提案を行うべく、社内外の研修による人材の育成を図り、顧客満足度の充実に注力した営業展開を図ってまいりました。

環境事業におきましては、引き続き巨大市場となっております太陽光発電システムの普及に取り組むため、自社施工体制の拡充を図り、前期を上回る完工実績をあげることができました。自用地への自社発電設備の設置にも努め、本年2月の大雪による影響はあったものの概ね順調に稼動しております。

また、当社事業の基本であります「保安」は、自己完結型の自主保安体制強化に引き続き努めており、高度保安実施事業者としての「液化石油ガス認定販売事業者」の地位を堅持しております。

さらに、田中製氷冷凍(株)における製氷事業は堅調に業績が推移し、前期からグループ化した(株)一実屋における青果事業もグループの業績に大きく貢献いたしました。

これらの結果、当年度の連結業績につきましては、売上高は前期比7.8%増の365億37百万円、経常利益は前期比14.5%増の12億32百万円となり、当期純利益は前期比13.6%増の6億63百万円となりました。

財務指標

連結貸借対照表(要旨)

当 期 末 (平成26年3月31日現在)
前 期 末 (平成25年3月31日現在)

	(単位：百万円)		(単位：百万円)	
	当期末	前期末	当期末	前期末
資産の部				
流動資産	11,292	10,767		
現金及び預金	4,564	4,857		
受取手形及び売掛金	4,576	3,990		
商品及び製品	1,615	1,371		
仕掛品	20	11		
原材料及び貯蔵品	187	222		
繰延税金資産	150	148		
その他の流動資産	187	191		
貸倒引当金	△ 10	△ 27		
固定資産	12,654	11,810		
有形固定資産	8,378	8,529		
建物及び構築物	1,786	1,721		
機械装置及び運搬具	624	640		
工具、器具及び備品	340	311		
土地	5,617	5,761		
建設仮勘定	9	94		
無形固定資産	164	224		
投資その他の資産	4,111	3,056		
投資有価証券	3,688	2,412		
繰延税金資産	102	269		
差入保証金	191	248		
その他の投資その他の資産	207	206		
貸倒引当金	△ 78	△ 81		
資産合計	23,947	22,577		
負債の部				
流動負債	7,212	6,794		
支払手形及び買掛金	2,971	2,706		
短期借入金	2,956	3,033		
1年内返済予定の長期借入金	143	79		
未払法人税等	204	124		
賞与引当金	254	239		
その他の流動負債	682	609		
固定負債	1,756	1,455		
長期借入金	505	123		
退職給付引当金	-	917		
退職給付に係る負債	764	-		
役員退職慰労引当金	167	142		
資産除去債務	23	23		
繰延税金負債	70	68		
固定資産解体費用引当金	36	-		
その他の固定負債	188	179		
負債合計	8,968	8,249		
純資産の部				
株主資本	14,642	14,171		
資本金	1,512	1,512		
資本剰余金	1,245	1,248		
利益剰余金	11,892	11,450		
自己株式	△ 8	△ 40		
その他の包括利益累計額	306	129		
その他有価証券評価差額金	266	129		
退職給付に係る調整累計額	40	-		
少数株主持分	28	27		
純資産合計	14,978	14,328		
負債純資産合計	23,947	22,577		

財務指標

連結損益計算書(要旨)

当期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
 前期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:百万円)

	当 期	前 期
売上高	36,537	33,902
売上原価	29,586	27,059
売上総利益	6,951	6,843
販売費及び一般管理費	5,936	5,980
営業利益	1,015	862
営業外収益	249	249
営業外費用	31	35
経常利益	1,232	1,076
特別利益	90	131
特別損失	196	192
税金等調整前当期純利益	1,126	1,016
法人税等	387	331
少数株主損益調整前当期純利益	664	585
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	1
当期純利益	663	584

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

当期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
 前期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:百万円)

	当 期	前 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	994	1,128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,516	△ 923
財務活動によるキャッシュ・フロー	147	20
現金及び現金同等物の期末残高	2,690	3,063

◆メガソーラー発電所を設置

環境に優しい再生可能エネルギーとして太陽光発電への需要が拡大している中で、当社も産業用発電システムの導入を推進しております。

直近ではメガソーラー発電所として、長野県駒ヶ根市に地上設置型の自社グループ発電所システムを設置致しました。年間発電量(想定)は1,250,000kWhで、一般家庭約350世帯の年間使用電力量に相当します。

当社の太陽光発電事業の規模は、総合計12メガ(自社発電・販売合算)になります。これは地球温暖化効果ガスと言われるCO₂を8,100トン(杉の木580,000本)分削減する効果があります。



◆佐久平支店が経済産業省から「中核充てん所」として認定されました

東日本大震災の発生時、停電等で多くの石油ガス充てん所が稼働停止に追い込まれたことを教訓に、国策として石油ガス販売事業者等が所有する石油ガス充てん所に対し、自家発電設備、石油ガス充てん設備、石油ガス自動車等を導入し、災害対応能力を強化して安定供給体制の構築を補助する取り組みが行われています。

当社佐久平支店も経済産業省から「中核充てん所」として認定されました。中核充てん所は災害時においても充てん所の共同利用または地域内充てん所からの依頼に基づき充てん受入、代替配送、保安点検調査の支援等を責務として行います。サンリンは今後もエネルギーインフラを支える企業として、地域への貢献に積極的に取り組んでまいります。



LPガス自家発電装置



LPガス保安(点検)車輛

◆第67回全国植樹祭協賛(ふるさと信州寄付金)に寄付贈呈

当社は創立80周年を記念して、平成28年春季に長野県内において開催予定の第67回全国植樹祭に300万円を寄付しました。この寄付は企業協賛としては第1号になります。

4月30日に長野県庁にて柳澤社長から阿部知事に目録を贈呈し、阿部知事より感謝状を頂戴しました。



©市民タイムス

株式の状況 (平成26年3月31日現在)

■株式の状況

① 発行可能株式総数	40,000,000株
② 発行済株式の総数	12,300,000株
③ 1単元の株式の数	1,000株
④ 株主数	717名

■上位株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社ミツロコグループホールディングス	1,676	13.6
リンナイ株式会社	712	5.8
等々力正敏	614	5.0
曾根原充夫	576	4.7
株式会社八十二銀行	575	4.7
東燃ゼネラル石油株式会社	500	4.1
株式会社長野銀行	458	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口79212)	352	2.9
須澤孝雄	346	2.8
長野県信用農業協同組合連合会	225	1.8

(注) 出資比率は、自己株式16千株を控除して計算しております。

■分布状況

所有者別の株式分布状況

所有者	持株数(千株)	出資比率(%)
個人・その他	6,757	54.9
金融機関	2,111	17.1
その他の国内法人	3,407	27.7
自己株式	16	0.1
その他	7	0.0

■配当性向(連結)

第76期	第77期	第78期	第79期	第80期
38.2%	40.1%	39.3%	37.7%	35.1%

会社の概要 (平成26年3月31日現在)

- 社名/サンリン株式会社
- 設立/昭和9年12月19日
- 資本金/15億1,280万円
- 従業員数/484名(グループ人員)
- 事業の内容/石油製品、LPガス、一般高圧ガスおよび住設機器の販売、煉炭・豆炭の製造販売

■役員の状況 (平成26年6月25日現在)

代表取締役社長	柳澤勝久
代表取締役専務	川窪磯男
常務取締役	大槻清人
常務取締役	塩原規男
取締役	田島晃平
取締役	茂木誠充
取締役	須野孝朗
取締役	金井正夫
常勤監査役	坂内富夫
常勤監査役	川岸隆
監査役	山根伸右(社外監査役)
監査役	神澤正哲(社外監査役)

■子会社等 (平成26年6月25日現在)

- 三麟運送株式会社(一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業)
- ウロコ興業株式会社(管工事業)
- 富山サンリン株式会社(燃料等卸小売業)
- サンエネック株式会社(LPガス容器等賃貸業、不動産業)
- 上伊那ガス燃料株式会社(LPガス充填業務)
- サンリン松本エネルギー株式会社(燃料等卸小売業)
- 田中製氷冷凍株式会社(氷製造卸、冷蔵倉庫業)
- 株式会社一実屋(青果卸売業)
- サンネックスパワー駒ヶ根株式会社(太陽光発電事業)
- 新潟サンリン株式会社(燃料等卸小売業)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日（ただし、中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所JASDAQ市場 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sanrinko.co.jp/ （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

【お 知 ら せ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

営業拠点



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

この報告書は、環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しています。